

# アメリカ留学への道 大学準備ガイド



留学先として人気ナンバーワンのアメリカ。

でも、いざ自分自身で留学準備となると何から始めればいいのか、どんな手続きが必要なのか、分からないことばかりです。

そこで強い味方になるのが、私たち“EducationUSA”です。

## 米 国 国 務 省 支 援

### EducationUSA アドバイジングセンター

EducationUSAは、アメリカの大学や大学院に留学したい方が、ご自身で大学選びや留学手続きができるように無料で支援しています。留学説明会や個別相談などを通して、どのように調べて、情報を集めるのか、中立的な立場から最新情報やアドバイスを提供しています。世界約170カ国にオフィスがあり、日本国内では、アメリカ大使館・領事館を拠点に活動しております。

※EducationUSAは、アメリカ大使館・領事館と日米教育委員会によって運営されています。

札幌アメリカンセンター

福岡  
アメリカンセンター

EducationUSA  
東京

名古屋アメリカンセンター

関西アメリカンセンター  
(大阪)

EducationUSA 沖縄



## A Broader View

### 人生を変えるアメリカ留学

アメリカ留学・生活経験者のインタビューをまとめたサイトです。  
たくさんの生の声を聴いて、自分の留学計画に役立ててください。

動画配信は米国大使館公式YouTubeから！

先輩たちの体験談から、まずは学んでみよう



## アメリカ留学準備、すぐに始めよう！

ウェブサイトの情報を集めて、チェックしながら進めましょう。

### スケジュールを立てる

▶▶ <https://educationusa.jp/steps/schedule.html>



### ワークシート・チェックリスト

▶▶ <https://educationusa.jp/steps/link.html>



### アメリカ留学よくある質問

▶▶ <https://educationusa.jp/faq/index.html>



目的、希望条件、大学選択など考えるときに使ってみてください。出願用のエッセイ作成のヒントに使えるワークシートもあります。

編入学、1年間の留学、費用、GPA、渡米中のアルバイトなどについて。聞きたいことがあれば、まずここでチェックしてください。

※この他、各地域のEducationUSAのSNSも合わせてチェックしてください。

## 留学説明会やイベント予定

▶▶ <https://americancenterjapan.com/event/>





Education  
USA

# 留学までの5ステップ



留学手続きの  
スケジュール

留学準備は、1年以上前から始めましょう。  
9月入学が一般的ですが、1月入学が可能な大学もあります。  
1年前の秋、9月から11月頃には学校選択や  
TOEFLなどのテストの受験をします。

12月から2月にかけて出願し、  
半年くらい前の3月から5月に可否通知が届いて、  
6月から8月に渡米前の準備をします。

※コミュニティカレッジなどの場合、  
準備期間が上記より短期間で済む場合もあります。



## 5 渡米前準備

ビザの申請と共に、渡米後の住居探し、  
航空券や空港出迎えサービスなどの手配を  
します。大学により定められた医療保険へ  
の加入を求められる場合もあります。虫歯の  
治療など、日本でできる治療は渡米前に済  
ませておきましょう。

## 4 ビザの申請

出願後、約2~3カ月後に結果が通知されま  
す。複数の大学に併願する場合は、最終的  
に行くに決めた留学先から送付された書類  
で、ビザ申請をします。ビザに関する規定は、  
変更される場合があるため、必ず大使館の  
ウェブサイトで最新情報を確認しましょう。

## 3 出願

日本のような入学試験ではなく、主に書  
類審査です。大学によって出願の締切日  
は様々で、早いところでは前年の10月  
のところもあれば、期日を設けず随時、願  
書を受け付ける大学もあります。留学に  
必要なテストの準備も早めに始めましょう。



- 出願書類
- 願書
  - 財政能力証明書
  - 成績証明書
  - テストスコア
  - 推薦状
  - エッセイ(志望動機書)

※必要書類は各大学によって  
異なります。

## 2 資金準備

大学により費用は異なりますが、往復の旅  
費を除いて、1学年間(9カ月)に、200万円  
~700万円程です(学費・生活費・医療保険・  
雑費含む)。奨学金の可能性も含め、留学の  
費用をどう支払うかについて、具体的な資  
金計画を立てる必要があります。

## 1 選択肢をリサーチ

留学の目的を明確にして、自分に合った留  
学方法や留学先を選びましょう。大学や大  
学院の学位を取得するかどうか、大学や町  
の環境、気候などが自分に向いているか、目  
的達成のために何をアメリカで勉強したいか  
など、情報を収集して慎重に検討しましょう。



### GPA (Grade Point Average)

アメリカの5段階評価		
成績評価/評語 (Letter Grade)	得点率 (Percentage)	評価点 (Grade Point)
A (excellent)	90 - 100	4ポイント
B (good)	80 - 89	3
C (average)	70 - 79	2
D (passing)	60 - 69	1
F (failing)	0 - 59	0

※入学に際し求められるGPAは、学部課  
程ではGPA2.0以上、大学院ではGPA  
3.0以上といわれています。

Start!

### アメリカの高等教育について

#### 2年制大学

公立

コミュニティカレッジと呼ばれています。多くは学生  
寮を備えていませんが、入学条件は4年制大学に比  
べて緩く、授業料は安めに抑えられています。

私立

ジュニアカレッジと呼ばれ、主に4年制大学への編入  
を想定した進学コースです。授業料はコミュニティ  
カレッジより高めています。

#### 4年制大学

総合大学

大規模で学生も2万人以上のところが多く、学部と  
大学院があります。多彩な専攻分野やプログラムが  
あり、研究者の育成に重点を置いています。

リベラル  
アーツ・  
カレッジ

学部だけの大学が多く、一般教養の教育に重点を置  
いています。授業料は高めですが、クラスが小規模  
で行き届いた教育を受けられます。

専門大学  
または  
単科大学

音楽や芸術、看護学、工学などの専門分野を勉強す  
る大学です。出願の際に能力や技能を示す作品の提出、  
オーディションが求められる場合もあります。

### 留学に必要な条件をチェック!

学力	一定水準以上の学業成績があることは、入学するための重要な要素のひとつです。5段階の成績の評定平均値GPAが広く用いられています。学業成績に加えて、適性能力テスト(学部課程: SAT / ACT、大学院: GRE など)が要求される場合もあります。
英語力	TOEFL や IELTS などの英語能力テストで英語力をチェックしましょう。※参考スコアは以下になります。 大学学部課程: TOEFL iBT 61点以上、IELTS 6.0以上。 大学院課程: TOEFL iBT 79 - 80点以上、IELTS 7.0以上。
経済力	必要な経費は往復旅費の他に授業料と大学に払う諸経費、教科書代、部屋代、食費、医療保険代、雑費などです。
コンピューター スキル	インターネットでの情報検索、Eメールのやりとり、文書作成、キーボードの操作がスムーズにできるかなどが基準になります。
その他	自分の経験やスキルなどをアピールできるか? 文化交流などコミュニケーションの適性があるのかについても考えてみましょう。